

発行／日本小児歯科学会九州地方会事務局(平成27年度)  
〒803-8580 北九州市小倉北区真鶴2-6-1  
九州歯科大学口腔機能発達学分野  
TEL : (093)582-1131(内線)1906 FAX : (093)583-5383

### 日本小児歯科学会九州地方会 会長挨拶

九州歯科大学口腔機能発達学分野 教授  
牧 憲司



会員の皆様におかれましては、日頃より会務の運営及び事業へのご協力、ご助言を賜り、誠にありがとうございます。

本部学会である日本小児歯科学会では来年度から実施される予定である日本小児歯科学会の公益法人化に向け着々と準備が進められております。我々は、本部学会との関連を踏まえた上で、近い将来、地方会の機構整備と諸規則の検討を行わなければなりません。また学会の活性化のために会員増は必須です。特に約4万人の小児歯科標榜医の開業医、歯科衛生士の方々が入会していただけるような魅力的な学会となるよう努めていかなければなりません。それとともに入会リーフレットなどを活用し、お知り合いの先生方をお誘いいただきますようによろしく申し上げます。

本年度の事業計画案は、前年に引き続き下記の7項目を中心に、より充実した地方会となるように進めております。詳細は本News Letterの中で記しています。

#### 日本小児歯科学会九州地方会事業計画

##### 1. 会員関係

会員の入退会：小児歯科を標榜の開業医、歯科衛生士の入会勧誘に努める。

##### 2. 機構整備に関する検討

###### ①本会の機構、組織及び運営に関する検討

本会の機構、組織の改善により運営の効率化を図るための検討を行う

###### ②諸規則の検討

諸規則、諸規定の検討、策定して整備を図る

##### 3. 学術関係

- ①日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会の開催
- ②小児歯科学会の研鑽と啓発のための九州各県研修会を企画（本年度は大分県、鹿児島県予定）

##### 4. 専門医・認定医制度関係

親学会と連携しセミナーの開催など健全なる運営、管理ができるように協力する

##### 5. 広報関係

###### ①ニュースレターの発行

本学会務運営の会員への伝達、周知に努める

###### ②九州地方会ホームページの充実

##### 6. 各地方会との協議及び連携

地方会連絡協議会への出席

各地方会間の連絡、地方会の問題などを協議し連携を図る

##### 7. 小児医療の連携

こども健康週間などへの協力に努めるとともに小規模単位の育児相談や健康支援に関わる市民公開講座、講演会なども活動に含める。

今後も会員の皆様のご協力・ご意見をうかがいながら日本小児歯科学会九州地方会事業計画を進めていく予定です。何卒よろしく願いいたします。

第34回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会は、福岡市立病院の柳田憲一先生が大会長として本年11月15日（日曜日）、福岡県歯科医師会間にて開催されます。事務局は九州大学大学院歯学研究院口腔保健推進学講座小児口腔医学分野（野中和明教授）が担当しています。大会のメインテーマは、「小児歯科におけ

る医療連携」です。基調講演1題、特別講演1題、シンポジウム1題、衛生士セミナー、ポスター発表など素晴らしい企画が準備されていますので 皆様お誘いあわせの上、多数のご参加をお願い申し上げます。

最後になりましたが、九州地方会の事業にご理解とご協力を賜りまして、今後益々のご支援、ご協力いただきますように、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 日本小児歯科学会九州地方会 副会長挨拶

日本小児歯科学会九州地方会 副会長  
奥 猛志



牧憲司会長のもと、日本小児歯科学会九州地方会の副会長職を務めて2年目となりました。日本小児歯科学会では牧会長が将来計画検討委員会の委員長として、小児歯科学会会員の増加、小児歯科専門医不足の地域の小児歯科医の活性化を図られています。そのため、九州地方会では、素早い対応が進んでいるところでございます。

まず、会員増加対策としては、昨年度、日本小児歯科学会に入会啓発ポスターならびに、会員向けのポスター作成を要望しました。会員の皆様へも配布されたかと思いますが、小児歯科学会会員の歯科医院への受診を推進するポスターとして好評を得ています。このポスターは日本小児歯科学会HPからもダウンロードが可能です。

ポスターの効果かどうかは不明ですが、平成26年3月末では4,474名であった日本小児歯科学会会員数が、平成27年3月末には4,524名に増加しました。九州地方会会員数も、499名から507名に増加しております。

中でも衛生士会員数が、30名から36名に増えており、今後も歯科衛生士の入会啓発も積極的に推進して参ります。医科での標榜医が自由標榜制では無くなる方向で進んでおり、歯科の標榜も追従すると考えられます。そうすると、学会の役割がますます増大すると考えられますので、会員増の啓発、事業の活性化を進めていかなければなりません。

一方、大学の無い地域、小児歯科専門医不足の地域の小児歯科医の活性化事業も定着してきており、今年度は、大分県ならびに鹿児島県での開催が決定しております。

今後の課題として、10月を中心に小児歯科学会が主動で行っているこどもの健康週間事業があります。この事業は、各県での対応に温度差があるため、子どもたちの口腔機能の発達支援のため、乳幼児期から、小児科・産科、助産師、看護師、栄養士、保育士など多職種と連携して事業が推進できるよう働きかけていきたいと考えております。

## 日本小児歯科学会九州地方会 副会長挨拶



日本小児歯科学会九州地方会 副会長  
尾崎 正雄

私が地方会副会長を拝命して、2年目を迎えます。地方会大学役員また県代表幹事の皆様と牧会長また奥副会長のおかげで活気のある地方会になってきました。小児の齲蝕は減少傾向にあると言われてはいますが、臨床的にみるとまだまだ小児歯科医がやらなければならないことが山積しています。最近話題となっている小児の口腔機能の異常は歯列不正を惹起するばかりでなく、全身の体質までも変えようとしています。私は、このことについて高齢社会である日本の未来にとって大切なことであり、小児歯科医にとって大事な仕事の1つであると考えています。インターネット検索など情報化時代にあつて、奥副会長が地方会のホームページを立ち上げられました。このホームページを活

かして九州地方会を保護者と一般歯科医師に何をどうアピールするべきかを考える時期にきています。また、生まれてくる九州地区の子供達のためにも高品質な小児歯科医療を提供できるよう、九州地方会が中心となり会員相互の情報交換や、学会の開催を通じて小児歯科医療のレベルアップをしていく必要があります。そのためにも、大学や開業医のもとで小児歯科専門医を目指している若い歯科医師を育てていく必要があります。人はそれぞれ目指す道と役目が違っても、九州地区に所属する皆さんが自分の目指す地域医療の道に向かって、力を惜しまずに進んでいけるような地方会を目指して行きたいと思っていますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

## 第32回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会開催

第32回日本小児歯科学会九州地方会 大会長  
九州歯科大学 教授 牧 憲司

第32回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会は、九州歯科大学が担当で（大会長：牧 憲司 準備委員長：西田郁子）平成26年11月23日（日）に、大会テーマ「夢のある小児歯科を目指して～九州地方会からの発信～」で九州歯科大学本館および講堂において開催された。

午前は、総会の終了後、特別講演Ⅰ、Ⅱが講堂で、教育講演が本館にて行われた。特別講演Ⅰは、「小児歯科そして成育歯科へ」居波 徹先生（いなみ矯正歯科）、特別講演Ⅱは、山口和憲先生（九州歯科大学 名誉教授）「口呼吸と咬合育成との関係について」で講演が行われた。お二人の長い臨床経験に基づいた貴重な講演であった。

教育講演は、大野秀夫先生（おおの小児矯正歯科）は、「予防学的視点に立った咬合の成育」についてで、基礎的内容から最新のトピックスを交えての講演であった。お昼休みにランチョンセミナーが福本 敏先生により（東北大学大学院歯学研究所・小児発達歯学教授）「う蝕予防の新しい考え方～明確な目標を持ったアプ

ローチとは～」と題して行われた。多数の参加者があつた。

午後からは講堂でシンポジウムが開催された。メインテーマは、「小児歯科の先輩から後輩へのメッセージ」サブテーマ～地域における子どもたちの健康づくりへのサポート～であり、本年九州歯科大学が100周年を迎えるにあたり、記念に企画されたシンポジウムである。まず品川光春（しながわ小児歯科医院）コーディネーターによる今回のシンポジウムの企画・テーマについての説明があり、シンポジストは下記5名の九州歯科大学OB5名の先生方であった。

- I 中尾哲之先生（なかお小児歯科）：う蝕の洪水時代からの小児歯科診療を経験して
- II 毛利元治先生（もうり小児歯科）：小児歯科としての障害児の歯科管理
- III 有田信一先生（ありた小児矯正歯科）：歯列咬合の機能と形態の発達の支援を目指して
- IV 西本美恵子先生（にしもと小児歯科医院）：歯科医院は、ホッとステーション

V 柏木伸一郎先生（小児歯科柏木医院）：診療室外での予防活動～フッ化物の応用を中心として～  
本館ではテーブルディスカッション（機能的視点に立った咬合誘導）の

I 金 俊熙先生（（医）無窮会 きむ矯正歯科クリニック）：哺乳・離乳からの咬合育成

II 黒江和斗先生（矯正歯科くろえクリニック）：発育期の矯正治療にできること

2題が講演され、活発な質疑応答が行われた。

本館では、衛生士セミナーも開催され楽しい歯科診療を行う支援ツール“絵本”の利用法についてで下記4名の発表があった。

講演1：絵本開発の経緯と絵本を利用した歯科診療の客観的評価

大野陽真先生（（医）おおの小児矯正歯科：山口県下関市）

講演2：絵本の作り方と健常児への活用

田中克明先生（田中こども歯科医院：佐賀県鳥栖市）

講演3：絵本の軽度障がい児（者）への応用

杉岡千津先生（（医）おおの小児矯正歯科：山口県下関市）

講演4：絵本の大人への活用

三隅純一先生（みすみ歯科医院：山口県宇部市）

今後の支援ツールの絵本の有用性が多岐にわたるものであることが強く認識された。会場から活発な質疑応答もあり好評であった。

ポスター発表や業者展示も併行して行われ、多くの参加者があった。夕刻に尾崎正雄教授（福岡歯科大学）から閉会の辞があり、大会および総会は終了した。参加者は400名近くと日本小児歯科学会九州地方会としては最大参加人数で成功裡に終了した。

大会終了後、講堂横の食堂にて懇親会が開催され、お酒を酌み交わしながら歓談し、大いに盛り上がった。改めて大会準備、運営にご協力いただいた教室の先生方、関係各位の皆様、ご参加いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

## 第32回日本小児歯科学会九州地方会総会議事録

### 1. 開会の辞

奥副会長より開会の辞が述べられた。

### 2. 会長挨拶

牧会長より会長挨拶が述べられた。

### 3. 第32回日本小児歯科学会九州地方会大会長挨拶

牧大会長より挨拶が述べられた。

### 4. 議長選出

今村 均先生が議長に選出された。

### 5. 議事

1) 第31回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会会計決算報告

2) 平成25年度日本小児歯科学会九州地方会会計決算報告

以上2項目について、岡幹事より報告された

3) 第31回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会決算および平成25年度日本小児歯科学会九州地方会会計決算監査報告

入江監事より監査報告が行われ、承認された。

4) 平成26～27年度役員について

牧会長より役員紹介が行われ、承認された。

5) 平成25年度日本小児歯科学会九州地方会予算案について

佐伯幹事より予算案が報告され、承認された。

6) 第三十四回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会開催地について

牧会長より、鹿児島大学が担当することが提案され、承認された。

山崎幹事より次々期担当校として挨拶が述べられた。

### 6. その他

1) 第三十三回日本小児歯科学会九州地方会大会長挨拶

柳田次期大会長より挨拶が述べられた。

2) 2016年に開催されるPDAA2016について藤原先生よりお知らせがあった。

### 7. 閉会の辞

尾崎副会長より閉会の辞が述べられた。

## 第33回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会のお知らせ

大会長 柳田 憲一  
同 補佐 野中 和明  
準備委員長 増田 啓次

第33回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会を「小児歯科における医療連携」をメインテーマとして開催させていただきます。多くの会員の皆様のご参加ならびにご発表をお待ちしております。なお、本年度は懇親会を16時より開始することにいたしました。多くの会員の皆様のご参加をいただき、一層ご親睦を深めていただければ幸いです。

大会期日：平成27年11月15日（日）

会 場：福岡県歯科医師会館（〒810-0041 福岡市中央区大名1丁目12-43 TEL.092-771-3531）

大会内容

1) 基調講演：「小児医療の進歩—現状と今後の課題—」

福岡市立こども病院 名誉院長 福重淳一郎先生

2) 特別講演：「Education, Clinical Activity, History as well as Future Strategy for the Patient in Special Need Dentistry at North Carolina」

ノースカロライナ大学 小児歯科

Tim Wright 教授

3) シンポジウム：より安心・安全な小児歯科医療を目指して

1. 「妊娠中の歯科治療とくすり」

月森清巳先生（福岡市立こども病院 周産期センター長）

2. 「児童精神医学の領域からのポイント」

吉田敬子先生（九州大学病院 こどものこころの診療部 特任教授）

3. 「小児がん治療の現状と晩期合併症」

古賀友紀先生（九州大学病院 小児科 助教講師）

4. 「小児領域において知っておきたい医療安全管理—異物の誤嚥・誤飲を中心に—」

永田公二先生（九州大学病院 小児外科 助教）

4) 衛生士セミナー：障害児（者）および有病児への歯科的アプローチ

1. 「自閉症児に効果のあるリラックス法」

立川義博先生（佐賀整肢学園こども発達医療センター 歯科室長）

2. 「衛生士と、地域における障害者および有病者の関わり」

廣田和子先生（廣田歯科 歯科医師）

3. 「未来にむけての取り組み」

渡辺善久先生（きららデンタルクリニック 院長）

4. 「当院における有病児への口腔ケアについて」

山下 薫先生（九州大学病院 小児歯科・スペシアルニーズ歯科 歯科衛生士）

会費：歯科医師 5,000円 歯科衛生士・その他 2,000円

懇親会会場：ソラリア西鉄ホテル17階 レストラン&ラウンジ トランスブルー 16時～

〒810-0001 福岡市中央区天神2-2-43

TEL. 092-761-6500 懇親会費：4,000円

学会事務局：九州大学大学院歯学研究院口腔保健推進学講座 小児口腔医学分野内

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1

Tel. 092-642-6402 FAX. 092-642-6468

## 第34回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会のお知らせ

第34回日本小児歯科学会九州地方会大会は鹿児島大学が担当となります。今回は、山崎教授のご厚意により、歯科大学の無い宮崎県にて開催させていただくこととなりました。宮崎での開催は、平成8年11月の第14回地方会大会以降、2回目となります。メインテーマは、「宮崎からこどもの未来につなごう！～いま、小児歯科に求められるもの～」とし、臨床に活かせる内容にしたいと企画、検討しております。非常に不便な地ですが、いろんな意味で、参加してよかったと感じていただけるような大会にしたいと、準備を進めてまいります。たくさんの皆様の来宮を願っております。

どうぞよろしく願い致します。

（文責 井上浩一郎）

日 程：平成28年10月30日（日）

会 場：宮崎市民プラザ（宮崎市）

大会長：井上浩一郎

準備委員長：山崎要一

補 佐：佐藤秀夫

事務局：鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科  
小児歯科学分野

## 平成26年度 日本小児歯科学会九州地方会 会計報告

単位:円

収入	
前年度繰越金	2,894,488
日本小児歯科学会より入金	754,000
第32回日本小児歯科学会九州地方会余剰金	184,554
利息	338
合計	3,833,380
支出	
第32回日本小児歯科学会九州地方会大会援助金	500,000
ニューズレター印刷費・郵送費	91,800
学術振興費	95,997
ホームページ作成・更新費	634,485
会議費	128,444
通信費	13,820
雑費	1,836
予備費(繰越金)	2,366,998
合計	3,833,380

上記の決算に間違いがないことを証明します。

会計監査 久芳 陽一

会計監査 入江 英仁

## 第32回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会収支報告

収入		
本部補助金		500,000円
参加費	歯科医師 5,000円×263名	1,265,000円
	コデントラル 2,000円×112名	224,000円
専門医更新審査料	3,000円×5名	15,000円
当日抄録集販売費	500円×54冊	27,000円
懇親会費	3,000円×69名	207,000円
協賛広告費		440,000円
業者展示費		255,000円
託児所補助金		99,788円
利息		65円
計		3,032,853円
支出		
印刷費		703,805円
通信費		132,782円
設営費		332,100円
会場費		387,100円
講師謝礼・交通費		457,000円
大会運営費		188,889円
雑費		12,367円
懇親会費		551,916円
保育料		92,340円
繰越金		184,554円
計		3,032,853円

監査 久芳 陽一

監査 入江 英仁

## 平成26年度専門医セミナー開催報告

平成26年度専門医セミナーが、北九州市小倉北区の真鶴会館で、平成27年2月8日（日）に行われました。

前年度は、福岡市での開催でしたので、今回は関西、中四国の先生方が受講しやすく交通の便が良い北九州での開催となりました。

当日は、小倉地区でのマラソン大会などのイベントから交通渋滞も予想されましたが、122名もの受講者をお迎えして、定時に開催する事ができました。

講演1のセミナーでは、福岡歯科大学総合医学講座小児科分野の岡田賢司教授に、「ワクチンで予防できる小児の疾患を考える」と題する講演を賜り、ワクチンの導入により各種の疾患の罹患率が著明に下がるという事や、ワクチンの更なる普及に向けた課題など平易でわかりやすく解説していただきました。

講演2のセミナーでは、奥羽大学歯学部生体構造学講座法歯学の花岡洋一教授に、「子ども虐待の根絶を目指して一歯科界の新たな役割」と題する講演をしていただきました。

児童虐待の現状、児童虐待防止法などを解説していただき、我々歯科医が、早期発見と防止にどのような貢献ができるかなどを、また虐待から1歩踏み込んだマルトリートメントの概念についてもご教授いただきました。

それぞれ講演後には、質疑応答がなされ、参加者は講師の回答に熱心に耳を傾けていました。

両テーマ共、普段の診療では知りえない内容であり、示唆に富み、また人間として、親として考えさせられるセミナーとなりました。

（専門医認定委員会委員 久芳 陽一）



### 専門医セミナー開催のご案内

- 日 時 平成28年2月14日（日） 12:45～16:00  
会 場 岡山大学地域医療人育成センター（MUSCAT CUBE）  
テ ー マ 小児歯科医として知っておくべき全身疾患に関する基礎知識  
講 師 1. 塚原宏一先生（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児科学分野）  
演題：「小児疾患の多様性」  
2. 仲野和彦先生（大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室）  
演題：「小児歯科臨床における完成性心内膜炎に関する基礎知識」

## 平成26年度第1回日本小児歯科学会九州地方会役員会議事録

開催日時：平成26年4月29日（火）12：00～15：00

開催場所：九州歯科大学病院棟11階大会議室

出席者：牧憲司、奥猛志、尾崎正雄、野中和明、藤原卓、山崎要一、西垣奏一郎、馬場篤子、星野倫範、佐藤秀夫、石井香、柏木伸一郎、田中克明、行成哲弘、京極絵美、木船敏郎、重田浩樹、空田安博、大倉秀一郎、石谷徳人、佐伯桂、久芳陽一、入江英仁、西田郁子

欠席者：井上浩一郎、橋本敏昭、竹島勇、品川光春（敬称略）

平成26年2月にご逝去された福岡歯科大学 名誉教授 吉田 譲先生に哀悼の意を表し、黙祷が捧げられた。

## 1. 開会の辞

奥副会長より開会の辞が述べられた。

## 2. 会長挨拶

牧会長より会長挨拶が述べられた。

## 3. 報告事項

## 1) 平成26、27年度役員紹介

牧会長より資料1を参考に平成26、27年度日本小児歯科学会九州地方会役員が紹介された。

## 2) 第32回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会準備状況について

資料2を参考に西田準備委員長より準備状況について報告された。

## 3) 日本小児歯科学会九州地方会HP

奥副会長より日本小児歯科学会九州地方会ホームページについて説明が行われた。

## 4) 宮崎小児歯科臨床談話会 第2回オープンセミナー報告

資料3を参考に欠席された井上先生の代理で牧会長、講演者の尾崎先生より報告された。参加者は、歯科医師63名、歯科衛生士・その他76名であった。

## 5) 日本小児歯科学会九州地方会学術講演会について平成25年12月8日（日）熊本県歯科医師会会館にて開催された日本小児歯科学会九州地方会学術講演会について、入江監事より報告された。

講演1「う蝕病因論の再考とその臨床での活用」長崎大学歯学部小児歯科分野 藤原 卓教授  
講演2「小児期の歯内療法と外傷歯への対応」九州歯科大学口腔機能発達学分野 牧 憲司教授  
参加者は、73名であった。

## 6) その他

- (1) 藤原先生より、学術委員会主催の一般公開講座を平成26年2月11日（祝）に熊本県歯科医師会館にて開催されたことが報告が行われた。

(2) 第9回アジア小児歯科学会（8/22-24 シンガポール開催）の抄録締め切りが、5月31日に延長された報告があった。2年後のアジア小児歯科学会は、東京歯科大学 新谷先生が大会長として開催されることが報告された。

(3) 山崎先生より、日本小児歯科学会 フィリピン台風災害支援に寄付して頂いたことへのお礼が述べられた。

(4) 山崎先生が次期日本小児歯科学会理事長に再任が決定したことの報告があった。

(5) 広報委員会奥先生より、海外の小児歯科の先生の紹介をJSPPのホームページに掲載していることが報告された。

(6) 雑誌等での広告に関して学会として掲載ルールを規定しているので、理事会報告を確認してほしいとの報告があった。

## 2. 議長選出

牧会長の推薦により行成哲弘先生が選出された。

## 3. 審議事項

## 1) 平成25年度日本小児歯科学会九州地方会会計報告（資料4）

資料4の収入の項の記載の訂正があった。30回→31回

## 2) 第31回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会会計報告（資料5）

前年度岡会計幹事より上記2つの会計報告が行われた。

## 3) 1) および2) に対する会計監査報告

入江監事より適正に処理されていることが報告され、上記2つについて承認させた。

## 4) 平成26年度九州地方会事業計画書

牧会長が、資料6を参考に、九州地方会事業及び予算に関する検討委員会および九州地方会事業計画について説明し、承認された。

木船先生より会員関係に関して、①小児患者の紹介マップの作成②小児歯科標榜医院の実態調査について提案があった。②に関して、山崎先生より標榜医制度は厚生労働省による制度なので、学会として標榜医をターゲットに事業を起こすことは困難である。本会としては、標榜医の方が入会したくなるような制度設計を考え、専門性を高め、協力体制を整えるようにしていきたいとの説明があった。

## 5) 佐賀県学校歯科保健研修会講師派遣について

田中先生より、資料7を参考に佐賀県学校歯科保健研修会について説明され、尾崎正雄教授の講師派遣依頼および九州地方会の共催依頼があり、承認された。



山崎先生より九州地方会が主体として承認できるものは進めて頂きたい。藤原先生より専門医のポイント習得のために、九州地方会共催が必要条件であり、承認後は専門医委員会に申請すること、ICカードリーダーの貸し出しが必要であることの説明があった。

県外への広報の方法について、昨年度事務局の馬場先生より九州地方会会員にはハガキにて周知を行った報告がされ、本年度も同様に実施するようになった。重田先生より講演内容について確認があり、尾崎先生より打合せ中である旨説明があった。専門医申請には講演内容が必要であることが藤原先生より説明があった。

#### 6) 平成26年度九州地方会予算案

佐伯先生より、資料8を参考に平成26年度の予算案が説明され、承認された。

野中先生より事業費の確認および通信費について質問があったが、昨年度は30周年記念誌郵送、県代表幹事選出のため通信費がかかったが、本年度は前々年度の予算を参考にした事の説明があった。

山崎先生より本年度はホームページ作成のため予備費が急激に減少しており、今後毎年10万円ほどの維持費がかかることに関するコメントがあった。

#### 7) 第33回日本小児歯科学会九州地方会及び総会の開催について

西垣先生より準備状況について報告され、承認された。

日時：平成27年11月15日（日）

場所：福岡市内で検討中

テーマ：「小児歯科における医療連携」

大会長：柳田憲一先生

大会長補佐：野中和明先生

準備委員長：西垣奏一郎先生

詳細については、次回役員会にて報告予定である。

#### 8) 第34回日本小児歯科学会九州地方会及び総会の開催について

山崎先生より第34回日本小児歯科学会大会および総会は鹿児島大学が担当し、同門会と相談して準備を進める予定であることが説明され、承認され

た。

#### 9) ニュースレターの発刊について

大倉先生より、資料9を参考に、ニュースレターの項目および担当について確認され、承認された。14の小児歯科学会専門医セミナー開催案内は、尾崎先生から久芳先生へ変更、ホームページの説明について追加し、担当は奥先生にお願いすることとなった。

#### 10) その他

##### ① 4月に保険点数改正について

奥先生、山崎先生より今後、新たな保険点数を獲得するためにはエビデンスが必要であり、調査研究の依頼があった際の協力依頼があった。

木船先生より保険装置について質問があった。山崎先生より厚生労働省の決定事項のため運用に際しては理想的なものではない。引き続き要望して行く予定であるが、保険装置に関しては、できるだけやってみてほしいとの説明があった。

##### ② 学会会員獲得について

奥先生より標榜医に向けた教育講演を企画してほしいこと、一般開業医へのアピール方法について検討してほしいとの提案があった。

山崎先生、藤原先生より、講演会、地方会会場に入会案内の窓口ブースの設置について提案あった。

##### ③ 尾崎先生より平成26年11月2日に福岡歯科大学主催、尾崎正雄先生大会長による第4回日本外傷歯科学会西日本地方会開催のお知らせがあった。

#### 6. 総評

入江先生より入会の促進案を有効に生かして会員増員に努めてほしいこと、ホームページを九州地方会会員にとって有効な情報の掲載、内容の充実をお願いしたいと述べられた。

久芳先生より、新しく幹事の先生方には、日本小児歯科学会九州地方会会則や九州地方会事業及び改正に関する答申書を確認してもらい、地方会が活性化するように考えて頂きたい。ホームページを有効に使用して、情報を発信して頂きたいと述べられた。

#### 7. 閉会の辞

尾崎副会長より閉会の辞が述べられた。

## 平成26年度第2回日本小児歯科学会九州地方会役員会議事録

開催日時：平成26年7月27日（日）12：00～13：40

開催場所：九州歯科大学病院棟11階大会議室

参加者：牧憲司、奥猛志、尾崎正雄、藤原卓、山崎要一、西垣奏一郎、馬場篤子、星野倫範、佐藤秀夫、石井香、田中克明、行成哲弘、京極絵美、木船敏郎、井上浩一郎、重田浩樹、空田安博、橋本敏昭、

久芳陽一、入江英仁、大倉秀一郎、佐伯桂、品川光春、石谷徳人、柳田憲一、西田郁子

欠席者：野中和明、柏木伸一郎、竹島勇（敬称略）

#### 1. 開会の辞

奥副会長より開会の辞が述べられた。

## 2. 会長挨拶

牧会長より会長挨拶が述べられた。

## 3. 報告事項

## 1) 第32回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会準備状況について

西田準備委員長より、資料1を参考に準備状況について報告された。

演題申込みは、一般発表30題、認定医・専門医更新発表5題で、現在抄録集の作成中である。

## 2) 第33回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会準備状況について

柳田大会長より、資料2を参考に報告された。

(日程) 平成27年11月15日(日曜)

(場所) 福岡県歯科医師会館(予定)

(メインテーマ) 小児歯科における医療連携

(大会長) 柳田憲一

(大会長補佐) 野中和明

(準備委員長) 西垣奏一郎

(事務局) 九州大学大学院歯学研究院口腔保健推進学講座小児口腔医学分野

基調講演 福岡市こども病院・福重院長

特別講演 アメリカの小児歯科医

シンポジウム 開業医、大学病院、病院歯科の先生

## 3) 日本小児歯科学会九州地方会HPについて

奥広報委員長より、資料3を参考にホームページの現状について説明された。

今後、研修会報告のページを作成する予定であり、作成に関しての協力依頼があった。

また、求人案内に関し、山崎理事長より、日本小児歯科学会は公益法人を目指しており、本会では求人案内に関しては別組織を設立し、ホームページからリンクする形態をとっているとの説明があり、本会の動向にあわせて、地方会でも検討する予定である。

## 4) 佐賀県学校歯科保健研修会講師派遣について

田中先生より資料4を参考に報告があった。

## 5) ニュースレターの原稿依頼

大倉先生より、ニュースレター作成状況について説明があった。

## 6) 専門医セミナーについて

久芳先生より資料5を参考に、平成27年2月8日(日)に北九州市小倉北区の真鶴会館で開催される専門医セミナーの案内があった。講師は岡田賢治先生(福岡歯科大学 小児科教授):「小児の病気とワクチンについて」、花岡洋一先生(東京歯科大学 法歯学講座 准教授):「小児の虐待について」である。

## 7) その他

①宮崎県の井上先生より、4月6日(日)に開催さ

れた第2回オープンセミナーの報告があり、感謝の意を述べられた。歯科医師63名、スタッフ76名、計139名の参加者があった。

②品川先生より本年度の保険改定のアンケートへの協力依頼があった。

## 4. 議長選出

牧会長より田中克明先生が議長に推薦された。

## 5. 審議事項

## 1) 平成27年度九州地方会からかの講師派遣の県の選定について

牧会長より、沖縄県、熊本県、佐賀県、宮崎県において研修会を開催するので、平成27年度は鹿児島県、大分県どちらかの開催が提案された。鹿児島県、大分県での開催の後、長崎県での開催を検討したい。

重田先生、木船先生先生ともに県歯科医師会と相談後、牧会長と開催について検討を行う。

また、予算的に可能であれば27年度に2県開催を検討する。

2) 「子ども健康週間」への九州各県の参加について各県の現状確認が行われた。主催の小児科学会の開催状況が各県様々であるため、対応が困難になっている。主催の団体への開催要請を小児歯科学会から行ってほしい、問合せ先が不明のため、各県の窓口を主催者側へお知らせしてはどうかなどの意見があった。

久芳先生より、主催が3団体あり交代するため、連絡方法が明確ではない。そのため、各県代表が各団体に積極的にアプローチする必要があると述べられた。

各県代表者が窓口になって頂き、行事確認後、積極的に参加して頂きたい。

## 3) 九州地方会新規会員増のために

牧会長より、本年度地方会より学会会場に入会用ブースを作成し、会員増員を図りたいという報告があった。

品川先生より、小児歯科標榜して小児歯科学会会員ではない方に入会して頂きたい。そのため、大学教育や各県歯科医師会、個人による入会に関するメリットをアピール必要があると述べられた。

行成先生より、取得しやすいレベルの資格の設定に関する質問があり、山崎理事長より検討中と回答があった。

牧先生より、大学の医局員数(大学院生、研修医など)増加が会員増加につながるため、各大学教室員獲得を目指して頂きたいと述べられた。

保険点数に関する質問に対して、品川先生より、今後、新しい技術が出てこなければ保険点数が高くなることは困難であり、自費部門も含めてバランスよくすることしかないとの意見が述べられ

た。

藤原先生より、講師派遣の研修の際に、小児歯科学会への勧誘を行うことの提案があった。

奥先生より、本会広報委員会にて入会用リーフレットの作成準備を進めていきたいと述べられた。

#### 4) その他

①牧会長より、11月の役員会にて機構整備に対する検討結果を報告すると述べられた。

②久芳先生より、遠方より役員会参加の先生方への交通費の一部負担できないかとの提案があった。本日の交通費を事務局へ算出し、検討することとなった。本会では、法人化後、必要経費のみで支給されている。また、井上先生より、交通費軽減のため、役員会日程を早く決定してほしいとの要望が述べられた。

③木船先生よりランチョンセミナーについて、企業からの金額供与に関して質問があったが、今大会では、金額供与はないことの報告があった。

④木船先生より、スタディグループの紹介に関して、紹介グループの選定方法について質問があった。

スタディグループの紹介は前年度から踏襲である。今後活動報告などの提出について提案があった。

今回のニュースレターに関しては、現在回答を頂いていない3団体に再度連絡し、回答が頂けた場合、掲載する。今後、各スタディグループに活動状況などの簡単なアンケート調査を行う、さらに、ニュースレターで数団体紹介を行っていくことの検討を行うこととなった。

#### 6. 総評

入江先生より、こどもの健康週間参加、連携について、個人的つながりではなく、学会を窓口としたシステムを構築すべきと述べられた。また、スタディグループに関して、任意団体なので紹介は良いが、活動報告の提出を義務化するなどは考慮が必要ではないかと述べられた。

久芳先生より、広報委員の先生方よりホームページが充実してきており、今後新しいシステム、企画してほしいと述べられた。

#### 7. 閉会の辞

尾崎副会長より閉会の辞が述べられた。

## 平成26年度第3回日本小児歯科学会九州地方会役員会議事録

開催日時：平成26年11月22日（土）18：00～19：30

開催場所：九州歯科大学病院棟2階第3、4会議室

参加者：牧憲司、奥猛志、尾崎正雄、藤原卓、山崎要一、馬場篤子、星野倫範、佐藤秀夫、石井香、田中克明、行成哲弘、京極絵美、木船敏郎、井上浩一郎、重田浩樹、空田安博、橋本敏昭、竹島勇、柏木伸一郎、大倉秀一郎、佐伯桂、品川光春、石谷徳人、柳田憲一、久芳陽一、入江英仁、西田郁子

欠席者：野中和明、西垣奏一郎（敬称略）

#### 1. 開会の辞

奥副会長より開会の辞が述べられた。

#### 2. 会長挨拶

牧会長より会長挨拶が述べられた。

#### 3. 報告事項

1) 第32回日本小児歯科学会九州地方会総会および大会準備状況について

西田準備委員長より資料1を参考に準備状況について報告された。

2) 第33回日本小児歯科学会九州地方会総会および大会準備状況について

柳田大会長より資料2を参考に準備状況について報告された。

会場が福岡県歯科医師会館に決定した事、準備委員長であった西垣奏一郎先生が退職の為、増田啓

次先生に変更となったことが報告された。

1. 基調講演：福岡市立こども病院 院長 福重淳一郎先生、仮題：医療における地域連携の重要性

2. 特別講演：ノースカロライナ大学 小児歯科 Tim Wright教授、仮題：Education, Clinical Activity, History as well as Future Strategy for the Patient in Special Need Dentistry at North Carolina

その他の講演、シンポジウムについては、選定中であることが報告された。

#### 3) 専門医指導医推薦について

牧会長より、1名申請があり、書類上何ら問題なく推薦を行った事の報告があった。

#### 4) 本年の子ども健康週間への九州各県の参加状況について

福岡県は、主催が久留米大学小児科に変更し、本年度は不参加であった。

大分県は、10月13日に開催予定であったが、台風のため中止となった。

佐賀県、長崎県、熊本県、沖縄県は、開催されていない。

宮崎県は、毎年、11月3日に行政主催のみやざき健康ふくしまつりが開催されて、その中に小児の健康相談のコーナーがあり、こどもの健康週間として参加している。本年度は2名の歯科医師が参

加し、歯科健診、相談を行ったと井上先生より報告があった。

鹿児島県は、9月中旬に第26回南日本こども健康セミナーが開催されたが、本年度は不参加だった。8月中旬に開催された第28回鹿児島県小児保健学会で小児科との連携をとっていると重田先生より報告があった。山崎先生より、こども健康セミナーは小児保健学科が主体のため、毎年歯科への講演依頼があるようではないが、常に協力できる体制は整えていると述べられた。

牧先生より、企画自体が存在しない県もあり、学会として働きかけについて提案があった。

山崎先生より、本会の小児保健委員会・委員長の犬塚先生に小児科学会からのこどもの健康週間に関する新しい企画の提案があるとの報告があり、次回開催される理事会での報告を待って、地方会での対応を検討することの提案があった。

品川先生、橋本先生より、小児科医会は、こどもの健康週間には、関係していないが、アプローチしてはどうかという意見があった。また、藤原先生より、大学の小児科の人手不足が、こども健康週間への意識が薄いことの原因ではないかとの意見があった。

#### 5) 入会用リーフレット (資料3)

奥先生より、入会用リーフレットとポスターを作製し、各地方会および都道府県歯科医師会に配布していることが報告された。また、牧先生より、学会会場受付に、入会用ブースを設けていることが報告された。

行成先生より、日本矯正学会で毎年配布されている会員配布のポスターを、小児歯科学会では今後作製の計画はあるのかとの質問があり、山崎先生より今度の理事会で提案するとの回答があった。

#### 6) その他

藤原先生よりPDAA2016のお知らせがあった。

第54回日本小児歯科学会と2016年アジア小児歯科学会が共催される。

大会会長 新谷誠康先生：準備委員長 藤原 卓先生

#### 4. 議長選出

牧会長より、井上浩一郎先生が議長に選出された。

#### 5. 審議事項

##### 1) 第32回日本小児歯科学会九州地方会総会式次第について

牧会長より、資料4を参考に総会式次第について、説明があり、承認された。

##### 2) 第34回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会について

山崎先生より、第34回日本小児歯科学会九州地方会大会について準備状況について報告された。

鹿児島大学主催で、宮崎市で開催を予定している。大会長：井上浩一郎先生、準備委員長：山崎要一先生である。準備委員長補佐の佐藤秀夫先生より、開催日程は平成28年10月23日(日)、開催場所は、宮崎市民プラザ(収容人数:500名、利便性を考慮)であることの説明があり、承認された。

#### 3) その他

##### (1) 各県派遣講師の件

牧会長より、来年度は、鹿児島県と大分県での開催の提案があった。

木船先生より、大分県は歯科医師会学術担当理事と話し合いの結果、九州地方会会長からの要請状を送って頂ければ、来年度開催可能であるとの報告があった。重田先生より、鹿児島県は現在のところ検討中との報告があった。藤原先生より、長崎県離島に派遣してほしいという要望があった。各県講師派遣に関しては、要請がある場所へ派遣することとし、要請は地区単位、スタディグループ単位でもよいことが確認され、承認された。

##### (2) 出張予算の件

牧会長より、前回役員会の旅費を算定すると約336,000円で、年間1,000,000円となり、旅費を捻出する財源がないため、地方会予算は地方会事業の方に使用してほしいとの説明があり、承認された。

##### (3) 研究会活動報告の件

ニュースレター、地方会HP掲載について、各スタディグループにアンケート調査を行い、掲載希望のスタディグループについては、ニュースレターおよび地方会HPに活動報告を掲載することが承認された。

#### 6. その他

1) 山崎先生より、平成27年第55回小児歯科学会全国大会が九州歯科大学の主幹で開催されるお知らせがあり、協力要請があった。

2) 第33回日本小児歯科学会九州地方会大会の特別講演の英語での講演に関して質問があり、同時通訳は困難であるが、スライド内容を翻訳してお渡ししたいとの回答があった。

#### 7. 監事総評

入江監事より各県講師派遣について、講演者リストの作製を検討してほしいと述べられた。

久芳監事よりHPの活用方法を考えてほしいと述べられた。

#### 8. 閉会の辞

尾崎副会長より、閉会の辞が述べられた。

## 平成27年度日本小児歯科学会九州地方会事業計画

### 1. 会員関係

会員の入退会

会員の入会、退会につき親学会と連携、協力を行う。

小児歯科を標ぼうの開業医、歯科衛生士の入会勧誘に努める（入会リーフレットの活用）

### 2. 機構整備

機構整備に関する検討

#### ① 本会の機構、組織及び運営に関する検討

本会の機構、組織の改善により運営の効率化を図るための検討を行う

#### ② 諸規則の検討

諸規則、諸規定の検討、策定して整備を図る

### 3. 学術関係

#### ① 各県に講師の派遣（本年度は鹿児島県、大分県への派遣）

#### ② 地方会大会での優秀発表賞を検討する。

### 4. 専門医・認定医制度関係

親学会と連携しセミナーの開催など健全なる運営、管理ができるように協力する

### 5. 広報関係

#### ① ニュースレターの発行

本会会務運営の会員への伝達、周知に努める

#### ② 九州地方会ホームページの充実

#### ③ MIHの調査

### 6. 各地方会との協議及び連携

#### ① 地方会連絡協議会への出席

② 各地方会間の連絡、地方会の問題などを協議し連携を図る

### 7. 小児医療の連携

こども健康週間などへの協力に努めるとともに小規模単位の育児相談や健康支援に関わる市民公開講座、講演会なども活動に含める。

## 九州地区 5大学講座一覧

大学分野名	主任教授名	郵便番号	住所	電話番号	FAX 番号
九州大学大学院歯学研究院口腔保健推進学講座小児口腔医学分野	野中 和明	812-8582	福岡市東区馬出 3-1-1	092-642-6402	092-642-6468
九州歯科大学健康増進科学講座口腔機能発達学分野	牧 憲司	803-8580	北九州市小倉北区真鶴 2-6-1	093-582-1131	093-583-5383
福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野	尾崎 正雄	814-0193	福岡市早良区田村 2-15-1	092-801-0411 (代表)	092-801-0692 (医局直通)
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻展開医療科学講座小児歯科学分野	藤原 卓	852-8588	長崎市坂本 1-7-1	095-819-7674	095-819-7676
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科健康科学専攻発生発達成育学講座小児歯科学分野	山崎 要一	890-8544	鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1	099-275-6262	099-275-6268

## 九州地区の小児歯科学研究会

研究会名	代表者	事務局	事務連絡先	連絡者 メールアドレス	電話番号	FAX 番号	地域単位の 研修会
小児口腔医療研究会	橋本敏昭	福岡歯科大学成育小児歯科学分野	814-0193 福岡市早良区田村 2-15-1 成育小児歯科学分野内	pedoral@college.fdcnet.ac.jp	092-801-0411	092-801-0692	○
福岡小児歯科集談会	二木昌人		810-0022 福岡市中央区薬院 4-1-26 薬院大通センタービル 2F ふたつき子ども歯科	fc-dental@san.bbiq.jp	092-523-7560	092-523-7540	○
NPO 法人ウェルビーイング	中村譲治		810-0041 福岡市中央区大名 1 丁目 15-24 Well-Being BLDG 2F	jimukyoku@well-being.or.jp	092-771-5712	092-741-8037	×
月曜会	小島哲一郎 (世話人)		815-0041 福岡市南区野間 1-15-3 アミューゼ南高宮 1F	info@kojima-kyousei.jp			×
北九州小児歯科臨床研究会	空田安博		807-0874 福岡県北九州市八幡西区大浦 1 丁目 5-15 そらだ小児歯科医院	info@sorada.or.jp	093-602-8369	093-602-8381	×
佐賀小児歯科研究会	梅津哲夫		849-0935 佐賀県佐賀市八戸溝 3-8-2 うめづ歯科・小児歯科医院	umedusika@mbn.nifty.com	0959-30-2555	0959-30-5566	×
長崎小児歯科臨床医会	高風重由美	堀内礼子	854-0001 諫早市福田町 37-3 堀内歯科	aya_dent@yahoo.co.jp	0957-21-5333	0957-21-5332	○
熊本小児歯科懇話会	逢坂巨彦	入江英仁	861-3206 上益城郡御船町辺田 見 366-1 入江歯科医院	e.irie@mail.sysken.or.jp	096-282-3188	096-282-3177	×
宮崎小児歯科臨床懇話会	旭爪伸二		880-0872 宮崎県宮崎市永楽町 207 番地 -1 わかば小児歯科	wakaba@miyazaki-catv.ne.jp	0985-27-2003	0985-25-1047	×
宮崎障害者歯科懇談会	安部喜郎		880-0834 宮崎市新別府町久保田 683-1 宮崎歯科福祉センター	d-senter@mnet.ne.jp	0985-83-3344	0985-83-3345	×
小児歯科臨床を語る会	奥 猛志		890-0034 鹿児島市市田上 5-4-27	dentaman117@giga.ocn.ne.jp	099-214-6471	099-214-6472	×
沖縄小児歯科研究会	竹島 勇	加藤真由美	903-0806 那覇市首里汀良町 3-63-3 ハイビスカスマンション 2F くばがわ歯科医院	milkyway.6480@utopia.ocn.ne.jp	098-887-6480	098-887-6481	×

## スタディグループ紹介

福岡小児歯科集談会は、福岡市および近隣を中心に50名弱の歯科医師会員を持つスタディグループです。九州小児歯科集談会時代からは35年ほどの長い歴史がある会です。歯科医師の個人会員に加えて、医院会員という形での入会も受け入れていますので、歯科衛生士をはじめとするスタッフの参加が多いのも特徴のひとつです。

現在の定例的活動は、年間4回の講演会およびセミナー（うち1回は歯科医師対象セミナー）、7月のスタッフ懇親会、加えて年1回のニューズレター「こだま」の発行です。講演会は原則としてオープンで、福岡市歯科医師会会員には回覧でお知らせして、参加いただけるようにしています。また集談会の講演会出席は、日本小児歯科学会専門医・認定医制度における単位として認定されています。

不定期ではありますが、これらの活動のために役員会を開いて計画を推し進めています。

また、こどもの歯Q&Aというホームページを運営しており、一般の方への情報提供や会員ページでは講演会案内などを行っています。

小児歯科分野は、いわゆる20世紀のう蝕や歯周疾患

の治療や予防の時代から広がり、より全人的に口腔の健康を通して小児の成長発育をサポートするという分野になりつつあります。さらに小児のみでなく青少年期まで成長期全般をカバーする責任もある分野と考えます。この概念を具体化するためには、成人歯科の分野を参考にしつつも、まだまだ私たちがやらなければならないことが多く残されています

講演会の内容や講師についてもそれが反映されており、顎関節症、歯周病、咬合、障がい者歯科、カリオロジーの専門家、心理カウンセラー、学校教諭など多岐にわたっています。また一方で、経営や小児歯科分野の保険診療報酬など、開業医には重要な分野の講演も網羅しています。

現在そして近未来は、若い先生方の入会や役員への参加を通して、これからの小児歯科を柔軟に考える方向性が出てきて欲しいと望んでいます。また、会員数は多いのですが講演会等に参加可能な会員が限られていると感じますので、ニューズレターはもちろん、講演会の映像コンテンツが提供できるような仕組みも考える必要があると考えています。



スタッフ講演会および懇親会 心理カウンセラー 米倉けいこ先生



子どもの心と体を元気にできる健口教育 小学校教諭 福田泰三先生



カリオロジーをどのように臨床に取り込むか 歯科医師 三ヶ尻佳貴先生



ニューズレター「こだま」第33号

## 日本小児歯科学会九州地方会会則

(平成23年10月10日一部改正)

- 第1条 本会は日本小児歯科学会九州地方会と称する。
- 第2条 本会は小児歯科を通じ地域の小児保健の向上に貢献するとともに必要とされる調査研究を行い発表と知識の普及を計ることを目的とする。
- 第3条 本会の事務局は別に定める所におく。
- 第4条 本会の会員は九州地区ならびに沖縄県に居住する日本小児歯科学会会員で構成する。
- 第5条 1. 本会に次の役員を置き、役員会を構成する。
- |      |     |
|------|-----|
| 会長   | 1名  |
| 副会長  | 2名  |
| 常任幹事 | 5名  |
| 幹事   | 若干名 |
- ・庶務幹事、会計幹事、広報幹事は本部役員幹事とする。
  - ・次期大会長、地方会推薦理事、本会理事長推薦理事は特別幹事とする。
  - ・大学代表幹事と県代表幹事は一般幹事とする。
  - ・監事 2名（議決権は有さないものとする）
2. 役員任期は、2か年とする。ただし再任は妨げない。
- なお、役員は九州地区ならびに沖縄県に居住するものに限る。
- 第6条 1. 会長は本会を代表し、会務を統括する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長が職務を執行できない場合、職務を代行する。
3. 幹事は本会運営に参画し、本会の円滑な運営を計る。
4. 監事は会計および会務を監査する。
- 第7条 1. 次期会長および監事は、役員会が候補者を推薦し総会で決定する。
2. 県代表幹事は九州地区ならびに沖縄県から選出された代表者とし、その数は各県の会員数に照らし合わせて別に定める。
3. 大学代表幹事は5大学小児歯科講座の推薦によって決定する。
4. 常任幹事は九州地区5大学歯学部小児歯科主任教授とする。
5. 次期役員は総会で決定する。
- 第8条 本会は毎年1回総会を開き会務の報告、会則の改正、役員選出、会計報告ならびにその他の議事を決定する。
- 第9条 本会は毎年1回会員による発表ならびに教育的事業を行う。
- 第10条 本大会は当日会費を徴収できる。なお会費は開催主体が役員に提出し、裁決にて決定する。
- 第11条 本会には顧問をおくことができる。
- 第12条 本会の事務年度は4月1日より翌年3月31日迄とする。
- 第13条 会務の円滑な運営のため、内規を役員会で決めることができる。
- 第14条 第8条の規定にかかわらず付則2、内規の変更に関し、役員会において行うことができる。
- (付則)
1. 本会則は昭和58年4月から施行する。



本会則は平成20年11月23日から改正施行する。

本会則は平成23年10月10日から改正施行する。

2. 本会の事務局は、平成26年4月1日より下記に置く。

〒803-8580 北九州市小倉北区真鶴2-6-1

九州歯科大学 口腔機能発達学分野

日本小児歯科学会九州地方会事務局

TEL : 093-582-1311 (内線1906)

FAX : 093-583-5383

(内規)

1. 役員会は現在の年2回から必要に応じて年3回開催する。
2. 九州地区各大学においては、現在地方会会長をまだされていない教授の方々が多くなってきていることより、当分の間は大学の教授と開業医が交互に九州地方会会長として選出されることが望ましい。
3. 副会長は大学、開業医からそれぞれ1名選出する。監事は2名選出する。
4. 日本小児歯科学会への地方会推薦理事は会長が推薦し、役員会で承認する。
5. 一般幹事は、大学代表幹事(5名)と県代表幹事、福岡(2名)、長崎(1名)、熊本(1名)、大分(1名)、佐賀(1名)、宮崎(1名)、鹿児島(1名)、沖縄(1名)の計14名とする。
6. 幹事選出にあたっては、大学代表幹事は各大学の推薦による。また、各県代表幹事は各県下所属の会員による推薦によって選出する。ただし、推薦の結果や各県の事情によって決定に至らなかった場合は九州地方会会長に一任とする。将来においては、各地域において推薦された人を対象として選挙を実施し決定する方向が望ましい。
7. 幹事としてその任に対して十分にその責任を遂行

できないと判断された場合は、九州地方会会長は注意勧告することが出来る。さらに改まらない時は役員会の合意を得て、推薦団体に対して責任を果たせる人選を依頼することができる。

8. 九州地方会本会からの大会援助金は一律50万円とし、大会長の要請があれば支出することができる。
9. 大会前日の役員会会議費は九州地方会会計から支出することとする。
10. 歯科医師の当日会費は一律5,000円とする。
11. 学会活動の活性化のため、大会開催以外の予算措置を含めた事業計画を立案し、役員会の承認により実施する。

## 平成26～27年度役員会名簿

役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名	所 属
会長, 常任幹事	牧 憲司	九州歯科大学	県代表幹事	京極 絵美	熊 本
副会長, 九州地方会特別幹事	奥 猛志	鹿 児 島	県代表幹事	木船 敏郎	大 分
副会長, 常任幹事	尾崎 正雄	福岡歯科大学	県代表幹事	井上浩一郎	宮 崎
常任幹事	野中 和明	九 州 大 学	県代表幹事	重田 浩樹	鹿 児 島
常任幹事	藤原 卓	長 崎 大 学	県代表幹事	竹島 勇	沖 縄
常任幹事	山崎 要一	鹿 児 島 大 学	九州地方会特別幹事	空田 安博	福 岡
大学代表幹事 (庶務幹事)	西田 郁子	九州歯科大学	九州地方会特別幹事	橋本 敏昭	福 岡
大学代表幹事	増田 啓次	九 州 大 学	九州地方会特別幹事	品川 光春	長 崎
大学代表幹事	馬場 篤子	福岡歯科大学	九州地方会特別幹事	石谷 徳人	鹿 児 島
大学代表幹事	星野 倫範	長 崎 大 学	九州地方会特別幹事	柳田 憲一	次期大会長
大学代表幹事	佐藤 秀夫	鹿 児 島 大 学	監事	久芳 陽一	福 岡
県代表幹事	石井 香	福 岡	監事	入江 英仁	熊 本
県代表幹事	柏木伸一郎	福 岡	会計幹事	佐伯 桂	九州歯科大学
県代表幹事	田中 克明	佐 賀	広報幹事	大倉秀一郎	大 分
県代表幹事	行成 哲弘	長 崎			

## 編集後記

今年台風の当たり年のように、7月までに13個が発生しています。台風の湿った暖かい空気の影響で、長引いた梅雨の大雨、梅雨明けからの連続の猛暑日と異常気象が続いています。この気候の中、通院して下さる患者様方に有り難い気持ちでいっぱいです。

熱中症予防にエアコンを上手に使いながら、1年の中で一番忙しいこの時期を、体調管理で乗り切りたいですね。

広報理事 大倉秀一郎